

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	バイキング	Lv.1:	バイキング	性別	女
称号クラス				年齢	15
種族	エルダナーン			境遇	正体
出自 (効果)	学者			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	11	13	13	11	10	9
ボーナス	2	3	4	4	3	3	3
クラス修正	0	2	2	0	1	0	1
他修正							
能力値	2	5	6	4	4	3	4

HP	43
MP	42
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ヘビーウィップ	至近	-2	7	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	レザージャケット					4			-1
補助									
装身具	シーフズツール								
能力値			5	0	6	0	3	10	7
スキル	フェイス：ダグデモア							2	
その他									
総計(右)			3	7					
総計(左)			5	0	6	5	3	12	6
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 3 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 3 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	5			5	+ d

所持品	
冒険者セット	
バックパック	
ベルトポーチ	
MPポーション*3	
HPポーション*2	
果実	
エリンディル西方トラベルガイド	
ウィップ	
ポーションポーチ	

現在重量：	16	所持金：	180	預金・借金：	
最大重量：	19				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：作成時に知力基本値+3								
スペシャライズ鞭	2		パッシヴ		自身			
効果：鞭の命中判定の達成値、攻撃+SL								
インタラプト	1		自動	視界	単体		1	
効果：スキル打消し								
バタフライダンス	1				自身			
効果：回避+1D								
インバートアタック	2	4	マイナー		自身	自動		
効果：武器攻撃の命中SL*2、1点ダメージを受けるとスリップ								
	★							
効果：								
セルフプライド	1		パッシヴ		自身	自動		
効果：遊泳状態の時								
アウトセル	1							
効果：買取・ドロップ10%UP増し								
	★							
効果：								
アクアスタンス	1	3	セット					
効果：								
シンクロナイズ	1	4	セット	20		自動		
効果：仲間と自分の行動値が早い方にあわせる								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	メジャー		
効果：対象に攻撃を行う場合2体以上でダメージ+ (SL*2)								
アイデンティファイ	1				自身			
効果：アイテム鑑定に+1D								
リムーブトラップ	1				自身			
効果：罠解除に+1D								
フェイス：ダグデモア	1							
効果：行動+2								

学者であり冒険家の父を見て育ったアクアは、いつか自分も冒険に出たいと憧れるが、母方祖父はドゥルガーラ大商人であり、お嬢様として育てられる何不自由なく育つも、一人前のレディになるようにと言われ習い事ばかりの毎日表面上は出さなくとも、心の奥底では冒険への憧れが強く今の生活が辛かったのだ娘の心情を知ってか、父はこっそり鞭の使い方を教えていた

そんなある日、父と母の会話を聞いてしまう  
自分が15年前、父が遺跡で見つけたガラス筒に入っていたホムンクルスだと言うことを知る  
それでも、自分を実の娘として育ててくれた二人の為に尽くそうと思ったのが祖父が「ヴァンスター貴族」とアクアの婚約を勝手に進めていたのだ  
流石に反論するも激昂した祖父が、二人の隠してた事実をアクアに突きつけてしまう  
『今まで血も繋がってもないお前を育ててやったのに！恩を仇で返すのか！』と  
その場で母は泣き崩れ、それを見た父が肩を抱きしめ慰めている  
アクアはその場を逃げるように部屋に戻り、その日のうちにドゥルガーラを出てしまう

「こんな旅立ちにはしたくなかった、二人に見送られて冒険者に・・・なりたかったです。  
ごめんなさいお父様、お母様」

一人、甲板で泣き崩れるアクア  
そして、彼女はパリス同盟にたどり着き  
更に遠くへとグランフェルデンまで来たのだ。誰も、自分を知らないであろうという地に

